

公表

## 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	ライズ児童デイサービスししがや		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携・情報共有 面談や送迎時などでの相談援助や児童の理解共有に関して評価が高かった。	送迎や電話等で得た情報を、朝礼・終礼・申し送りなどで職員間で共有している。また、助言や対応が必要な場合に担当者へ連絡を繋ぐことでより速い解決に向けてようしている。	職員数が多く情報の伝達不足になる時の為の予防の検討を行うための見直しを随時図る。
2	個別支援と計画の実行	面談等でご家族様ご本人のご希望を聞きながら、ライズでの計画書に反映、実行する為の個別課題などを提供。 当日利用児童の個別課題の情報共有等を行いながら、達成目標等の設定を行うようしている。	計画書の実行・達成に向けて、職員間で統一した支援を行うため、スキル向上の研修や周知力の向上を図る。 支援プログラムの固定化されてきているとのご意見もあり、プログラムの見直しを図りながら、児童1人1人が楽しく活動参加出来るように職員間での話し合いを定期的に行う。
3	関連機関との連携	相談があった場合に関連機関の紹介や連携を図る為のケース会への参加等を積極的に行っている。	ご本人ご家族様の生活への支援に繋げて行けるように、様々な支援のご紹介を実例等を含め情報を発信し、安心して相談していただけるように環境の提供を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間のスキルの統一に関する課題	職員数が多く、職員間でのスキルの統一に関する機会を設ける事が不足している事が原因と考えられます。また情報共有も個々の認識の違いから統一し切れていないと考えられます。	児童の特性に応じたプログラムの見直しを行う中で、職員の間々のスキル向上の研修や統一されて支援の為のミーティングを行う事で、安心や目標達成を目指す。
2	ペアトレや保護者会・地域交流の機会不足	保護者様向けの交流や情報共有の場の提供が出来ていない。ご家族様へお子様の現在・将来に関する情報を提供が地域交流では消防署や警察署・地域イベントに参加等を行っているが、他イベントへの参加の発案と	ペアトレや研修会のお知らせの機会を適宜発信していく為の、情報収集や実際にライズ職員の支援を見ていただくことで、家庭内での課題や目標・支援内容の共有化を図れるように計画を進めていく。
3	非常時などの対応に関する情報提供不足	非常時対応のマニュアルの周知や説明の不足。事故怪我の時の対応の説明が不十分とのご意見もあり、事業所内での統一した対応方法の整備不足。	契約時や定期的な紙媒体・インターネット・HUG・ブログ等での情報を発信するよう検討していく。また、事故怪我の時の対応に関する統一した行動マニュアルの作成と実施を目指す。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果(放課後等デイサービス)

事業所名 ライズ児童デイサービスししがや

公表日 2026年3月15日

利用児童数 71

回収数 56

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	53	3				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	49	3	1	3	人数が足りない時の変更事項はそのように伝えてくれるので、今後も急な職員不足も隠さずにあってほしいと思います。	配置数に関しては急な変更の時もありご迷惑をおかけする事がございましたが、今後も十分な職員配置をめざしてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	54	2			広さも分かりやすさも適切だと思います。田どもに分かりやすくまくスペースを利用されていると思います。	個別でのスペース確保が必要な時など、パーティション等を使用しております。今後もお子様たちに分かりやすいように配慮を心掛けてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	52	4			どうしても衛生面が大変だと思いますが、気にかけて綺麗に保っていると思う度に行きます。	ありがとうございます。衛生面や換気、室内温度設定等今後もお子様たちが心地よく過ごせるように努めて参ります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	53	3			田どもの特性をよく理解して対応してくださっていると思っています。田どもに常に寄り添ってくださっていると思いますが、新しい先生への指導もしっかりお願いします。	ご意見ありがとうございます。お子様たちに寄り添い特性を理解し支援を行って行くうえでも、新しい職員を含め情報共有と研修等で統一して行けるようにしてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	54	1		1		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	56				面談等で話を聞いてくれている。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	52	3		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	55	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	49	6		1	どのプログラムでも個々に子どもが楽しめるように考えてくださっています。	固定化しているプログラムでは心理的に安心して取り組める事で次のステップアップに繋げていけるようにと考えております。お子様の成長に合わせ、新たなプログラムにも今後も取り組んでまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	12	16	17	学校で交流があるので、放デイにまで必要性を感じていません。機会があればという程度でライズの1と2で交流も時おりあるので子どもにいい刺激だと思います。考えています。ロイズの1と2で交流も時おりあるので子どもにいい刺激だと思います。	
保護者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	52	4			分からない時は質問するとしっかり教えてくれて有り難いです。	ご契約時でのご説明での不足が無いように今後も随時ご説明内容を検討して参ります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	56					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	16	9	15	今のところ必要性は感じていません。貴重なご意見ありがとうございます。保護者様向けの講座等の情報や、将来の為に情報発信に力を入れていきたいと考えております。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	54	2			職員数が多くばらつきがあるように思います。職員同士での情報共有の徹底を心掛け、全体調の変化やいつも違う様子でもお知らせさせていただきます。とても有り難いです。	貴重ご意見をありがとうございます。職員同士での情報共有の徹底を心掛け、全体調の変化やいつも違う様子でもお知らせさせていただきます。とても有り難いです。お子様の成長をご家族様と行って行けるように引継ぎや情報共有方法の見直しを行って参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	54	2			毎回同じ時期にやって頂いています。	

一 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	53	2		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	18	9	15	必要性は感じていません。 必要かどうかわかりません。	ご意見ありがとうございます。夏祭りやラポールでの親子イベントなどで、お子様と他ご家族様との交流機会を今後も継続しながら、保護者会での意見交換会等についても実施して行くように考えております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	49	2		5	□つも親身に対応して下さっています。	お子様やご家族様からのご相談等があった場合に随時行わせていただいております。スピード感をもって真摯にお話をさせていただけるように努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	53	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	56					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50	2		4	時々、ブログ掲載の際に顔のスタンプを忘れられていることがあります。	ブログ等の個人情報のお取り扱いにより注意し、対応策を施設内で話し合い、確認を強化してまいります。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	44	3	1	8		
非 常 時 等 の 対 応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	52			4	定期的な訓練をしてくれているので安心している。	年2回5月と11月に避難訓練等を行っております。緊急時の対応に関して普段から対応方法のご家族様へのご説明等を強化しご家族様と一緒に備えていける体制づくりに励んでまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	49	3		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	52	2	1	1	書類で何かあればお知らせして下さいませ	事故等の緊急時の対応に関し、職員間で話し合いを行い、緊急時の対応を統一し迅速に対応していけるように努めてまいります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	55			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	53	2		2	楽しく通っています。 先生を見て笑う様子をみると安心して居るのだと感じます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	54	4			他の曜日になかなか入れない。 とても助けられています。	貴重なご意見ありがとうございます。ご希望の曜日に安心してご利用いただける体制づくりに現在行い始めております。

公表

## 事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名	ライズ児童デイサービス ししがや			公表日	2026年 3月 15日		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	2			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	15	3	適切な配置を実施していけるように人数の確保に努めています。	送迎時間帯に職員配置が難しいことがある。職員配置数が職員の体調不良等で手薄になることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	2	施設の構造上窓がない教室があり、音がこもりやすい為防音パネルなど使用しています。	おもちゃ等の置く場所が1か所ではない為子供たちにわかり辛い状況。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18		掃除、消毒など手が触れるところを特に念入りに行っています。活動の内容によって、テーブルやパ「ーション」の移動・設置でレイアウトを変える工夫を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	2	パーティション等で個別の空間を作り安心できる環境作りを心掛けています。	子供一人一人に合わせ安心してクールダウンできる場所の環境の提供をするため、パーティション等必要な物を用意が必要。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	17	1	毎月1回のミーティングと朝礼終礼にて、情報共有を行っています。	非常勤のスタッフや前日お休みのスタッフ等への情報共有が申し送りだけでは不十分。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17		1	保護者様からの評価表にて意向を職員で共有しています。	自己評価の保護者様意見に関し、確認と改善に関しての話し合いの実施を行い改善に繋がっていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	3		職員での月1回のミーティングや朝礼終礼を行う中で、意見交換を行っています。	業務改善を目的とした全職員参加のミーティングの開催を行う機会を作ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16	2		外部評価の機会も少なく、結果に関しての周知も徹底がされておらず、外部評価に関して知らない職員がいました。	外部評価に関しての社内での情報発信とともに評価欠陥を改善に繋げて行く必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	1	1	法人内で月別研修・虐待研修等を行っています。	外部研修等の参加が個人自助努力となっており職員の知識向上のための研修機会を増やしていく必要がある。
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	17	1		事業所内で職員・こども本人・ご家族と定期的にあセスメント・モニタリングを行い計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18			計画書作成時と実行時期に計画内容を共有しています。さらに成長などで変化のあったときにも話し合いをしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18			こどもの様子変化等経過記録にて記載を残しアセスメントと共に使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18			計画書作成時に必要な項目に応じた支援内容を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	2		活動プログラムは担当が1か月のスケジュールを行い、チームで確認をお粉中で意見交換を行っています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17	1		活動プログラムは療育を目的とした内容の為、固定化しているものと、外出や調理・季節のイベント活動等は固定化しないように考えています。		
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	18			こどもの一人一人の特性や目標を考えながら、個別課題と集団活動の課題と目標設定を決め支援を行っています。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	1		朝礼・終礼にて打ち合わせを行っています。	役割分担や連携に関する課題があります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18			職員間で支援後情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	1		経過記録にて計画書の目標に応じた支援に関する記録を残しています。	支援の検証改善を話し合い申し送りに記載をしています。しかし、実施後の振り返りが弱いので強かが必要です。
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	17	1		1か月の活動内容にて組み合わせる活動を行えるように設定しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	18			自分で考え決定するまでの話し合いを行う、意見を他の人に聞く等を言葉や、絵カード等使用し行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18			児童発達管理責任者が参加をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	18				医療などの連携は必要時のみ行う場面があるが、常にはとることはありません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	17	1		HUGアプリや電話にて調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	16			今までは保育園や就学前の児童発達支援事業所との情報共有機械がありません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	13		今まで移行先に情報共有を行った実績がありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	16	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		2	16		交流の機会はありませんでした。今後も難時間や場所の関係もあり難しいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	9	8		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	1			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	14	1		ご家族へのペアレントトレーニングを含むご家族様向けの研修の情報共有を行ってきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18			契約時にご説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18	3		ご家族様へは面談時や送迎時、こども本人には、必要時に確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	18			計画書の内容をご説明後ご了承をいただいて署名を記載していただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	18	1		相談等に関し助言や必要な関係機関などとの連携を取っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	13	2	夏祭り等保護者様参加できるイベントを実施しています。	保護者会での意見交換会等は実施できていないので、今後検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	1			職員間で情報共有し、迅速に対応していける体制づくりをしていく必要があります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	18			HUGアプリやイベントカレンダーの配布、Instagram等で発信を行っています。	

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	2			ブログの写真の掲載等を複数名でのチェック体制を行うなどより注意し取り扱う必要があります。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	1				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	10	1		事業所に招待等実施はありませんでした。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	2	1		各マニュアルと緊急時の持ち出しファイル作成・緊急持ち出しバックの用意等を行っています。	ご家族向けにマニュアルの有無・内容などは発信できていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	2			年に2回5月と11月に避難訓練等を行っています。	緊急時のライブでの対応に関してご家族様へのご説明不足。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18				確認しながら支援を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	2			基礎調査資料と定期的なアセスメントにて確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		16	2			安全管理計画の周知徹底の不足。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		15	3			ご家族への周知が足りていません。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17	1			毎日の終礼にてヒヤリハットの報告と、毎週土曜日に対策を職員で話し合い、再発防止に努めています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18				2か月に1回虐待虐待研修の実施とともに、職員間で声を掛け合い、虐待に対する意識を保つようにしています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16	2			事前にご家族に同のようなときに行うのかなど説明しご了承をいただき計画書に記載しています。身体拘束を行った場合ご家族様に説明をしています。		